

インナーフロア試験データ

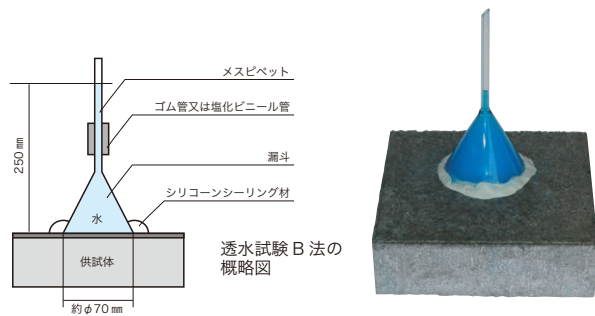
コンクリート透水試験

■試験方法

JIS A6909(建築仕上塗材)透水試験B法により、透水量を測定

■試験結果

インナーフロアは無処理と比べて透水は認められなかった。



	透水量
無処理	0.78 ml
インナーフロア処理	0.00 ml

耐摩耗試験

JIS K7204 に準ずる磨耗試験機を用い、1000回転終了時の磨耗減厚を下記試験体に散布し、測定した。

■磨耗輪の種類:GC150H

■荷重:250g

■試験体:モルタル配合 セメント:砂=1:3

W/C、62%、フロー、180mm

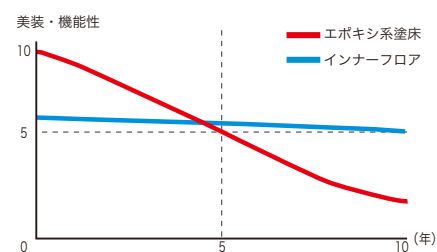
このモルタル板を100×100×10mmの金型に打設し、その上をシートで覆い14日間養生する。健全に硬化させたモルタル板に下記量のインナーフロアを塗布。その後、14日間気乾養生した物を試験用試験体とした。

	磨耗減量(g)	磨耗減厚(mm)
モルタル・無処理	0.98	0.16
インナーフロア0.25kg/m ²	0.10	0.05

※一般モルタルの約10倍の耐摩耗性

インナーフロアの美装及び機能性

●エポキシ系床とインナーフロアの経年による美装及び機能性の差を示したグラフです。

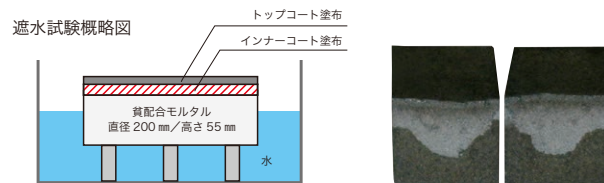


コンクリート遮水試験

■試験方法

貧配合のモルタルを十分に乾燥養生させ、インナーフロアを塗布し、水に半浸漬した時の膨れの状態を試験した。

コンクリート・モルタル水分計 HI-520 にて水分を計測
→ モルタル内水分量 3%



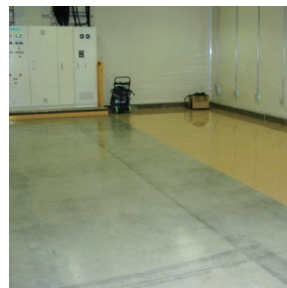
半浸漬した時間	結果	
	未処理	インナーフロア処理
1週間	×	○
1ヵ月	×	○

■試験結果

試験後コンクリート・モルタル水分計 HI-520 にて水分を計測したが、計測値に変化はなかった。
このように試験結果から下地からの水分蒸発を抑える優れた遮水効果が確認された。

耐薬品性能一覧

耐水性	◎	塩素	△
耐温水性(40℃以下)	◎	次亜塩素酸ソーダー	◎
耐熱性(40℃以上)	△	エチルアルコール	◎
高温蒸気(80℃以上)	×	紫外線殺菌	△
耐酸性(PH6~7)	◎	オゾン殺菌	×
耐アルカリ性(PH7~9)	◎	導電性	×
強酸(PH1~5)常温	×	高温耐熱(300℃~100℃)	×
強酸(PH1~5)高温	×	一般用途(40℃~0℃)	◎
強アルカリ(PH9~13)常温	◎	冷蔵・冷凍庫(0℃~-15℃)	◎
強アルカリ(PH9~13)高温	×	低温冷凍庫(-15℃~-30℃)	◎
機械油 常温 耐油性	◎	極低温冷凍庫(-30℃~-60℃)	△
ホルマリン	○		

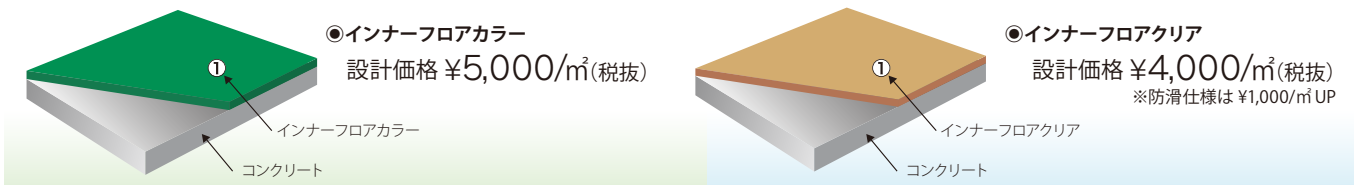


インナーフロアカラー(リフト充電室)



インナーフロアクリア(リフト充電室)

インナーフロア工法図



施工前には必ず商品の施工仕様書・注意事項等をお読みのうえ、正しくかつ安全に施工してください。
また、予告なしに仕様などを変更する場合がありますので、予めご了承ください。

保証

◎"インナーフロアカラー" "インナーフロアクリア" 共に1年間のクラックメンテナンスが無償で付いています。
◎仕様及び記載内容は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。◎くわしくはお問い合わせください。

Construction Materials
サンエム建材 フリーダイヤル 0120-350093
www.floorblast.com

株式会社サンエム建材
福岡市博多区博多駅前3-7-3-401 〒812-0011
TEL.092-433-2211 FAX.092-433-2212

浸透性床材

インナーフロア

—— 浸透性超微粒子エポキシ樹脂[無溶剤形] ——

New Solution Inner Series

国内
初製品化
2008年8月現在

今の塗床は剥がれてはいませんか？

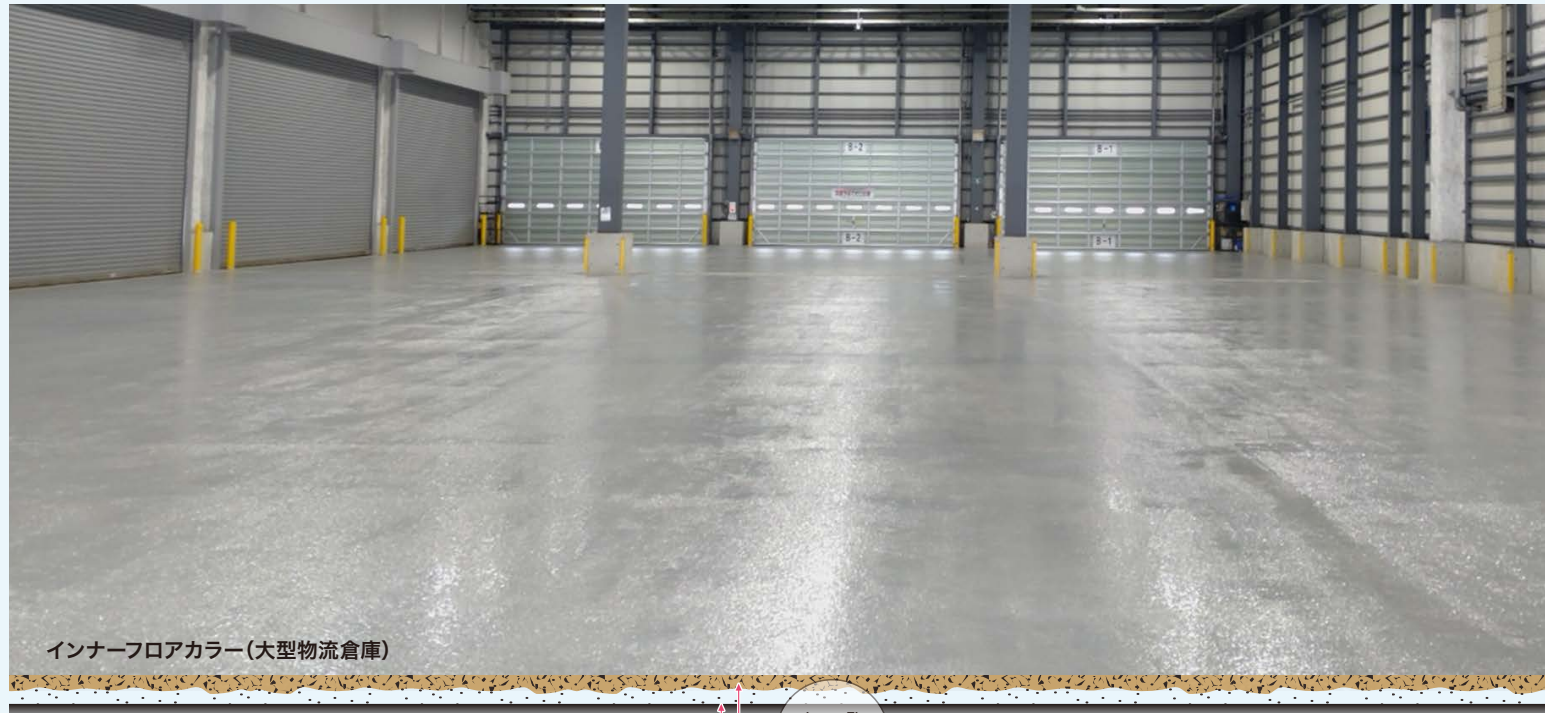
Sun'M Materials

www.floorblast.com

半永久的に剥がれない塗り床材【インナーフロア】

耐 摩 耗

耐 薬 品



インナーフロアカラー(大型物流倉庫)

今の塗り床材の問題点……剥離

現在、一般的に使用されている塗床材の剥離の原因にはコンクリート内部に含まれる水分、経年による劣化、摩擦・摩耗、コンクリートとの接着不良などによる層間剥離が多くを占めています。

開発キーワード

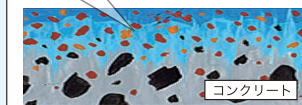
上に塗るか、下に塗るか?!

インナーフロアは、この様な問題を解決する為に“剥がれない床”をテーマに開発されました。
従来のように、エポキシ樹脂をコンクリート表面にコーティングするのではなく、インナーフロアは超微粒子エポキシ樹脂をコンクリート内部の奥深くに浸透させることによって緻密性の高い強固な一体構造を形成します。また、水蒸気透過性が小さく、内部・外部からの水分も完全に遮断し、半永久的に膨れや剥離のない塗床材です。

New Solution

革新的な独自の新開発による、ナノテクノロジーエポキシ樹脂(超微粒子分子構造エポキシ樹脂)で粒子径が通常のエポキシ樹脂の1/5以下と言う非常に高い流動性を持ちコンクリートの空隙を通過しながら奥深くに浸透し、層を形成します。また、強度は一般モルタルの10倍あり耐磨耗性と接着性に優れている等、従来塗り床材が抱えている問題をクリアするニュー・ソリューションと言えます。

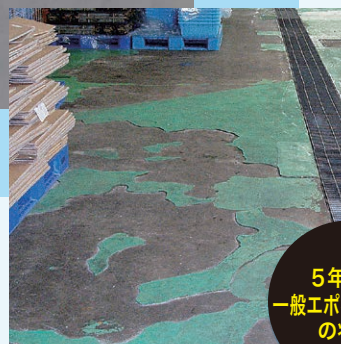
Construction Image



インナーフロアイメージ図
インナーフロアがコンクリート表層からポーラスの部分に浸透して、強度のある一体構造となります。



インナーフロアカラー
(物流倉庫)



5年後の
一般エポキシ塗床材
の状況

インナーフロアとは…

現在、最も多く使用されているエポキシ・ウレタン樹脂系塗床材は、コンクリート表面に塗布する流しのペ工法が一般的です。レベリング性が高く、美装仕上げて、強度にも優れ、様々な用途で使用されています。しかし、この素晴らしい塗床材にも剥離という大きな欠点が隠れています。剥離する原因は、コンクリート内の水分・落下物による割れ・フォークリフトによる磨耗、コンクリート面との不具合、最後は経年の劣化による剥離と様々です。また、経済性に於いても補修費や塗り替え改修費、時間も掛かり大きな費用の負担となります。
インナーフロアは、エポキシ樹脂をコンクリート表面にコーティングするのではなく、超微粒子エポキシ樹脂をコンクリート内部の奥深くに浸透させることによって緻密性の高い強固な一体構造を形成しますので、現在の塗床材が抱えている問題を全てクリアするために創られた画期的な商品です。



割れる、膨れることは ありません。

インナーフロアは、モノリシック構造ですので、モノを落としても割れたり剥がれたりしません。さらに、インナーフロアは遮水性に優れていますので、コンクリート内部からの水蒸気でも膨れたりしません。

効果／強度・耐久性の向上、耐磨耗性・防塵効果、劣化・保護

用途／各種工場、配送センター・倉庫、医療施設、冷蔵庫・食品工場など



ランニングコストで大幅な経費削減!

インナーフロアは、改修時に従来のエポキシ樹脂系塗床材とは違い、既存の床を剥ぎ取る必要もありませんので、低予算での施工が可能です。

エポキシ樹脂流しのペ工法 設計価格 6,000 円/m²

10年目 ¥6,000 × 1,000 m² = ¥6,000,000

※既存床の撤去に下地処理費がさらに 1,500 円/m² プラスされます。

VS

インナーフロアカラー 設計価格 5,000 円/m²

10年目 ¥2,500 × 1,000 m² = ¥2,500,000

インナーコートは
トップコートを“塗り替える”だけの
簡単施工+低予算



インナーフロアアクリア(個人宅ガレージ)



インナーフロアアクリア(ショップ床面)



インナーフロアカラー(食品メーカー厨房)

特徴

1 劣化

コンクリートの表面を半永久的に保護します。現在使用されています塗床は剥がれるとコンクリートの保護にはならず、同時に劣化が進行します。床のコンクリートは建物の土台として一番重要な場所ですので保護は必要不可欠です。

2 強度

コンクリートをさらにエポキシ樹脂で固め一体構造になるので剥がれない耐磨耗性の高い頑丈な床に変わります。

3 防水・遮水

コンクリートの空隙を埋め緻密な個体となりますので、水による剥がれや膨れの心配はありません。

4 接着

コンクリートの表層が強固なエポキシ樹脂層だから塗床材・ライン等の相性も良く一体になるため剥がれません。

